

1 日時・時限二〇二三年九月二日（金）三時限 10：55～11：45

2 学年組・人数三年一組三〇名（男子一〇名女子二〇名）

3 生徒観 進学希望者中心の文系のクラスである。議論をすることにあまり抵抗がない生徒と、奥手な生徒が混在している。コロナ禍の影響もあり、基礎学力に不安があったり、精神的に不安があったりする生徒も存在している。

4 教材 自主教材（S-wingSLC を意識した教材を作成・「脇町高校イノベーションワークショップ」で実施しているものの中からニーズ×テクノロジーの手法を用いた）

S-wingSLC(脇町高校で身に付けるべき科学的思考力)【Science-wing~科学の羽~、wing(脇町町校で羽ばたく) S (skill 能力) L (literacy 読解記述力) C (competency 優れた成果を創出する個人の能力・行動特性)】で育成する力は以下のA～Gである。

A 他者と協働する力 B 課題理解・発見力 C 情報収集力 D 情報分析力 E 考察・統合力 F 構成・表現力 G 自己調整力

5 単元名 通いたくなる地方空港にする

6 単元の目標 他者と協働しながら、課題を理解したり、新たな発見をしたりしていく。その際に情報を適切に収集し、分析した上で考察にまでもっていくことができるようにする。

これらを総合的な探究の時間を通して養っている。効果を測定するためにi-GROWなどを活用している。また、イノベーション教育活動を探究部の活動の一環として実施している。そこでは心理的資本を定期的に測定している。

## 7 本単元の主な学習活動

1 時間目 イノベーションの意味を理解するとともに、誰もがイノベーションを起こしていくことが出来ると自覚してもらえようようにしていく。新しさを生み出す仕組みには多岐にわたるものがあるが、その理解が進むことで実践できるように例を見ながら方法を身に付ける。グラフィックレコーディングの手法も練習することで、発表の際のわかりやすさ、につながるようにしていく。

2 時間目 通いたくなる地方空港のイメージが具体化できるよう、ニーズとして地方空港の課題を見つける。また、テクノロジーの手法として自分がよく行く場所について考える。この際、自分が行かなくても入場者数が多い場所を発見してその特徴を抽出するというのであってもかまわない。

3 時間目 個人で考えたものを班で共有することで新たな発見や改善策を見いだしていく。また、一度まとめてから「ちゃぶ台返し」としてアイデアの再構築ができるようにしていく。(本時)

4 時間目 班ごとの発表と質問を繰り返すことによって理解を深めたり課題をさらに見つたりする。

formsにて実施する心理的資本計測（事前・事後）

あなたのお名前を教えてください。

HRNOを4桁で教えてください

イノベーションワークショップに参加したことがありますか。（Y/N）

\*以下6段階で回答

先生や運営責任者とのミーティングにおいて、自信を持って自分のチームを代表して発言できる

取り組みやチームの戦略について、議論に貢献する自信がある

クラスや仲間のグループに自信を持って情報を提供できる

関わっている取り組みで難しい状況に追い詰められた場合、打開する方法が多数思い浮かぶ

現在のところ、関わっている取り組みでかなり成功している方だと思う

現在の取り組みで、ゴールを達成するための方法を多数思い浮かべることができる

現時点では、自分が設定したゴールを達成している 必要な場合は、関わっている取り組みにおいて「単独で」行動できる

ストレスがかかる取り組みでも普通は簡単に乗り越えることができる

過去に困難なことを経験したことがあるので、今後も厳しい状況を乗り越えられる

取り組みに関して常にポジティブに考えている

取り組みに関して、将来何が起こるかについては楽観的に考えている

複雑な問題について順序だてて考えることが得意だ 考えをまとめることが得意だ

物事を正確に考えることに自信がある 誰もが納得できるような説明をすることができる

何か複雑な問題を考えると、混乱してしまう

いろいろな考え方の人と接して多くのことを学びたい

生涯にわたり新しいことを学びつづけたと思う

さまざまな文化について学びたいと思う

外国人がどのように考えるかを勉強することは、意義のあることだと思う

自分とは違う考え方の人に興味を持つ

いつも偏り（かたより）のない判断をしようとする

物事を見るときに自分の立場からしか見ない

物事を決めるときには、客観的な態度を心がける

一つ二つの立場だけでなく、できるだけ多くの立場から考えようとする

自分が無意識のうちに偏った（かたよった）見方をしていないか振り返るようにしている

結論をくだす場合には、確たる証拠の有無にこだわる

判断をくだす際には、できるだけ多くの事実や証拠を調べる

何事も、少しも疑わずに信じ込んだりはしない

## リフレクション (9.22 授業アンケート)

### 記述問題

- 1.あなたの氏名を教えてください\*
- 2.今回の授業について感想を聞かせてください\*
- 3.今回の授業で考えが変わった、新たな発見があったものがあれば聞かせてください\*
- 4.質問や疑問などがあれば自由に書いてください

### 選択問題

- 5.今回の授業に関する自己評価を得点化してください
- 6.グループに自信をもって情報を提供できる
- 7.できるだけ多くの立場から考えようとする
- 8.無意識のうちに偏った見方をしていないか振り返るようにしている
- 9.判断を下す際、できるだけ多くの事実や証拠を調べる